

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 2021年 3月 31日

事業所名：すこやかキッズスタジオ須磨

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	時間で活動を区切る事で、十分なスペースが確保出来ている。	はいの評価が多数、どちらともいえないやわからないが少数あり。	これまで通りスペース確保出来る様に整理整頓を徹底する。
	2 職員の適切な配置	活動、送迎中状況に応じて適切な職員を配置出来る様に行っている。	はいの評価が多数、わからないが少数あり。	これまで通りトラブル、怪我に気をつけて職員を配置していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	ワンフロアで室内には、段差を無くし視覚支援を用いて理解しやすい環境を整備している。	はいの評価が多数、わからないが少数あり。	室内も整理整頓に注意し、引き続き見渡しやすい環境を維持していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清掃、消毒を行い心地よく過ごせるように清潔感ある空間を維持している。	はいの評価が多数、わからないが少数あり。	清掃や消毒を徹底し、清潔感のある空間を維持していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	朝礼時、送迎終わり等に問題があれば話し合っている。		引き続き話し合える時間を確保し、すべての職員で取り組んでいく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施なし。		現時点では外部評価を行っていないので、前向きに検討する。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	入社時研修、年に1回虐待防止研修を行っている。		引き続き定期的な研修を行う。外部の研修に積極的に参加する。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者に事前にモニタリングし、適切な計画書作成に努めている。		保護者にモニタリングし、相談内容や日頃の活動を参考にして作成する。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの様子を確認して、個々に応じた計画書作成に努める。	はいの評価が多数、どちらともいえないやわからないが少数あり。	子どもの状態はそれぞれ違うので個々の活動だけでなく集団活動の内容も確認し作成する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもによって状態は異なるので、個々の内容に応じて具体的な支援内容を記載するように努めている。		職員と話し合い子どもの状態を確認し支援内容を考えていく。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員全員が計画の内容を把握し計画に沿って適切に実施するように努めている。	はいの評価が多数、どちらともいえないやわからないが少数あり。	計画書作成時だけでなく、定期的に個々の課題や注意点について確認を行い、計画に沿った支援を継続する。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	プログラムが単一化しないようにすべての職員がアイデアを出し合っている。		職員同士の話し合いの時間をつくり、案を出し合う。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	学校によって終わり時間が異なったり、代休があったりするので対応している。	はいの評価が多数、どちらともいえないやわからないが少数あり。	引き続き、ニーズに沿った支援を心がける。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	行事や季節に合った制作を行う事で固定化しないように工夫している。		職員同士の話し合いの時間をつくり、案を出し合う。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝の朝礼で支援内容や役割分担の確認を行っている。		その日の子どもの状態、気を付ける事を朝礼で伝達する。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後に気づいた点はその日のうちに報告し、翌日の朝礼で情報の共有を行っている。		・話し合いの時間をつくる。 ・気づいた事をノートに書いてもらう。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	各記録は確実にいき、支援の内容、改善する点には話し合いの機会を持っている。		各記録に不備がないよう日々のチェックと月末のチェックを実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回モニタリング実施し、計画書の見直しを行っている。	今後も半年に1回以上モニタリングを実施し、計画書を見直す。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	セルフプランの参加者が全員の為、担当者会議が開催されたことがない。	担当者会議が開催された場合には施設の児童発達管理責任者が積極的に会議に参加する。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし	支援は行っていないが、支援を行う事になったら連携した支援を行っていく。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし	支援は行っていないが、支援を行う事になったら連絡体制の整備を整える。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	該当なし	該当なし。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	自発的な情報提供は行っていないが、保護者、移行後の施設からの依頼があれば、その都度情報を提供している。	利用時の資料はしっかりと保管し必要に応じて情報提供できるようにしておく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて実施している。	今後多くのスタッフが研修に参加出来る様に調整していきたい。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	自発的な情報提供は行っていないが、保護者、移行後の施設からの依頼があれば、その都度情報を提供している。	いいえやわからないという評価が多数、はいやどちらともいえないが少数あり。 利用時の資料はしっかりと保管し必要に応じて情報提供できるようにしておく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の方々を招待する行事は実施していない。	わからないやいいえの評価が多数。	機会があれば検討していく。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に書面、口頭で行っている。	はいの評価が多数、どちらともいえないが少数あり。	これからも漏れが無いように丁寧に説明し、不明点があれば随時説明していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を保護者に提示し、説明を行っている。	はいの評価が多数、どちらともいえないが少数あり。	これからも漏れが無いように丁寧に説明し、不明点があれば随時説明していく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	プログラムとしては実施していない。都度、電話や面談での相談を実施している。	はいとわからないの評価が半分半分。	保護者へのアドバイス等は今後も行っていく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に日々の状況を伝え、保護者からも家庭での様子を伺っている。	はいとの評価。	今後も保護者との情報交換・共有が適切に行えるように努めていく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	連絡帳や送迎時に、保護者から話を伺う事が多い。必要時は電話や面談にて助言している。	はいの意見が多数、いいえやどちらともいえないが少数あり。 意見 ・送迎時に話はするが落ち着いて話せない ので年に1度は面談してほしいという意見あり	今後も保護者からの相談には対応し適切な助言を行えるように努める。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母会等は実施していない。	いいえの評価が多数。 意見 ・コロナ禍なので難しいと思う。	現在父母会等の実施の予定はありません。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対応する体制は契約時の重要事項説明書に記載及び説明しており、万が一苦情があった際には担当職員が対応する体制を整えている。	はいの評価が多数あり、わからないの評価が少数あり。	引き続き苦情があった場合は、迅速丁寧に対応できる体制を整えておく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	日々の変化を連絡帳や送迎時に伝えている。	はいとの評価。	引き続きわかりやすい情報伝達に努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	会報等の発行は出来ていないが、活動概要や行事の予定等は連絡帳、送迎時に口頭で伝えている。	いいえやわからないという評価。 意見 ・プライバシーもあるのでなかなか難しい。 ・活動の様子を写真で見たい。	今後も十分な情報発信に努め、改善点があれば検討していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	取り扱いには保護者に同意の上行っている。個人情報を記載した書類は鍵付き倉庫で保管している。	はいとの評価。	今後も契約時に説明をしっかりと行い、保管や共有の際の取り扱いには細心の注意を払う。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	策定を行い職員への周知は行っているが保護者への通達は一部行えていない。	はいの評価が多数、わからないやいいえが少数あり。	マニュアルの定期的な更新を行い、保護者への周知を進めていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	1年に2回災害発生を想定した訓練を実施している。	わからないとの評価。	今後も訓練の実施を行い、当日参加していない児童の保護者へも訓練実施の報告を行っていく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	入社時、年に1回研修を行っている。月1回のチェックリストを全員実施している。		今後も定期的な研修の実施と毎月のチェックリストを実施していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を実施した事例はないが、子ども自身に危険がある事例については、その事業所だけでなく会社全体での会議で決定しており、全職員に周知している。また、保護者にも十分に説明し、理解していただいた上で、支援計画書へ記載している。		引き続き全体での会議で慎重に決定していき、全職員が周知できる体制を継続していく。計画書の記載、保護者への説明も徹底していく。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書の提出までは求めていないが、保護者からの情報に基づき、職員全員が周知できる体制を整えている。		保護者、医療機関等との情報収集や連携を更に推進していき安全な対応を徹底していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	自事業所内だけでなく、別の事業所で発生した事例についても周知および再発防止の徹底を図っている。		引き続き、書面でのヒヤリハットの作成と職員が共有するよう話し合い等を行っていく。